

野田市は、千葉県北西部に位置し、江戸川や利根川を挟んで埼玉県及び茨城県と接しております。この両県の発展に伴う交通量の増加により、主要地方道つくば野田線及び主要地方道野田牛久線と、市域を南北に縦貫して市街地を分断している東武野田線とが交差する愛宕駅や野田市駅付近は、慢性的な交通渋滞が発生し、都市機能や生活形態に様々な影響が生じておりました。

こうしたことから、東武野田線連続立体交差事業により、愛宕駅、野田市駅の2駅を含む延長約2.9キロメートル区間の鉄道を高架化し、11箇所の踏切除却と交差する幹線道路の整備により、交通渋滞や踏切事故の解消、歩行者等の安全確保を図り、鉄道により分断された市街地の一体化など、安全で利便性の高いまちづくりを進めております。

現在、当連続立体交差事業におきましては、全区間の高架橋工事が概ね完了し、鉄道の営業線高架運行が開始され、交通渋滞や踏切事故が解消されました。また、愛宕駅及び野田市駅の一部が供用開始となり、エレベーター、エスカレーター等の設置によるバリアフリー化が図られ、駅利用者の利便性が大きく向上したところであります。

野田市は、本事業に合併特例債を活用し事業促進を図っており、今年度は野田市駅の高架橋二期工事や交差道路の整備等を引き続き進めてまいります。

また、関連事業につきましては重点事業に位置付け、連続立体交差事業とともに駅前広場や鉄道と交差する道路の整備など、合わせて整備効果を発現させるため、街路事業や土地区画整理事業等を積極的に推進しているところです。

こうした状況を踏まえ、国におかれましては、当連続立体交差事業を着実に完成させるため、次の事項について特段のご配慮を賜りたく要望いたします。

一 東武野田線（野田市）連続立体交差事業及び関連事業の計画的かつ円滑な事業実施による、必要な国の道路関係予算を確保すること

令和4年9月20日

野田市長 鈴木 有

参 考 資 料

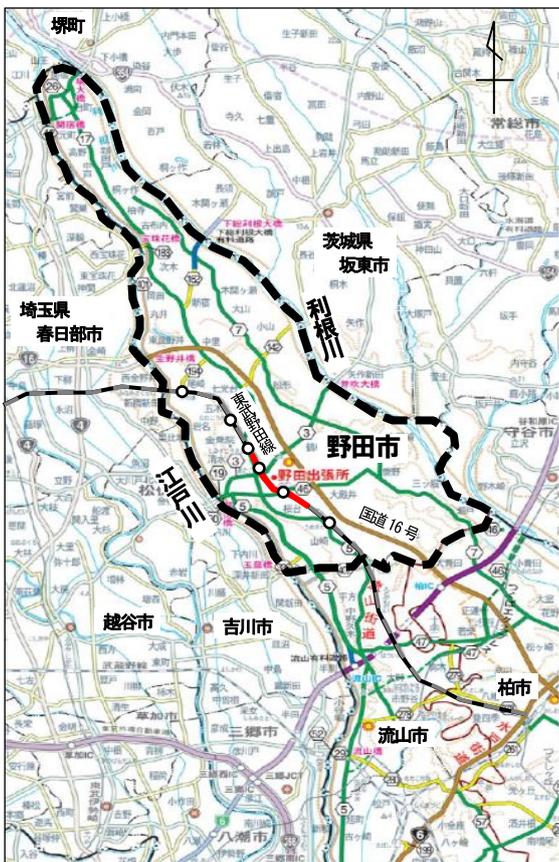
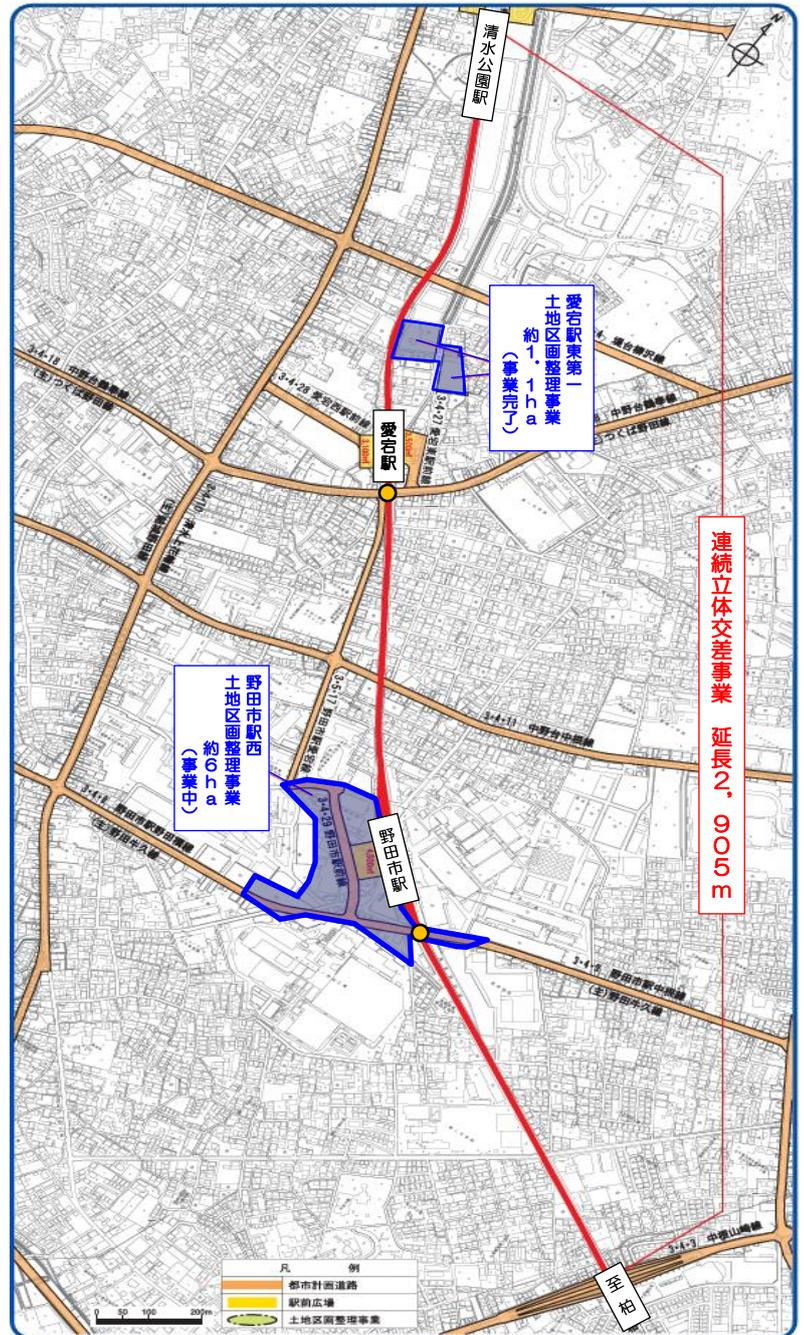
- 事業概要
- 連続立体交差事業の多面的なストック効果
- 計画的、安定的な事業推進の必要性
- 連立関連事業の推進

事業概要

○事業の概要

都市計画決定	平成 17 年 8 月 23 日
事業認可	平成 20 年 3 月 31 日
事業区間及び延長	区間 清水公園駅～梅郷駅間 延長 2,905m
除却踏切	11箇所
立体交差する道路	16路線うち都市計画道路4路線
駅計画	愛宕駅 相対式ホーム 野田市駅 島式ホーム

○事業区間



○整備前の状況



自動車・歩行者ボトルネック踏切
(主要地方道つくば野田線)



愛宕駅前踏切の歩道狭小
(主要地方道つくば野田線)



駅のエレベーター・エスカレーター未整備
(愛宕駅・野田市駅)

※野田市駅

連続立体交差事業の多面的なストック効果

・まちの安全

交通渋滞の解消

〔主要地方道 つくば野田線
主要地方道 野田牛久線〕

踏切事故解消

消防・救急活動の迅速化

・まちづくり

街の分断が解消され市街地一体化

〔市道新設4箇所
踏切除却11箇所〕

・移動時間の短縮

〔ボトルネック踏切2箇所が解消〕

・都市交通の円滑化と安全性の向上

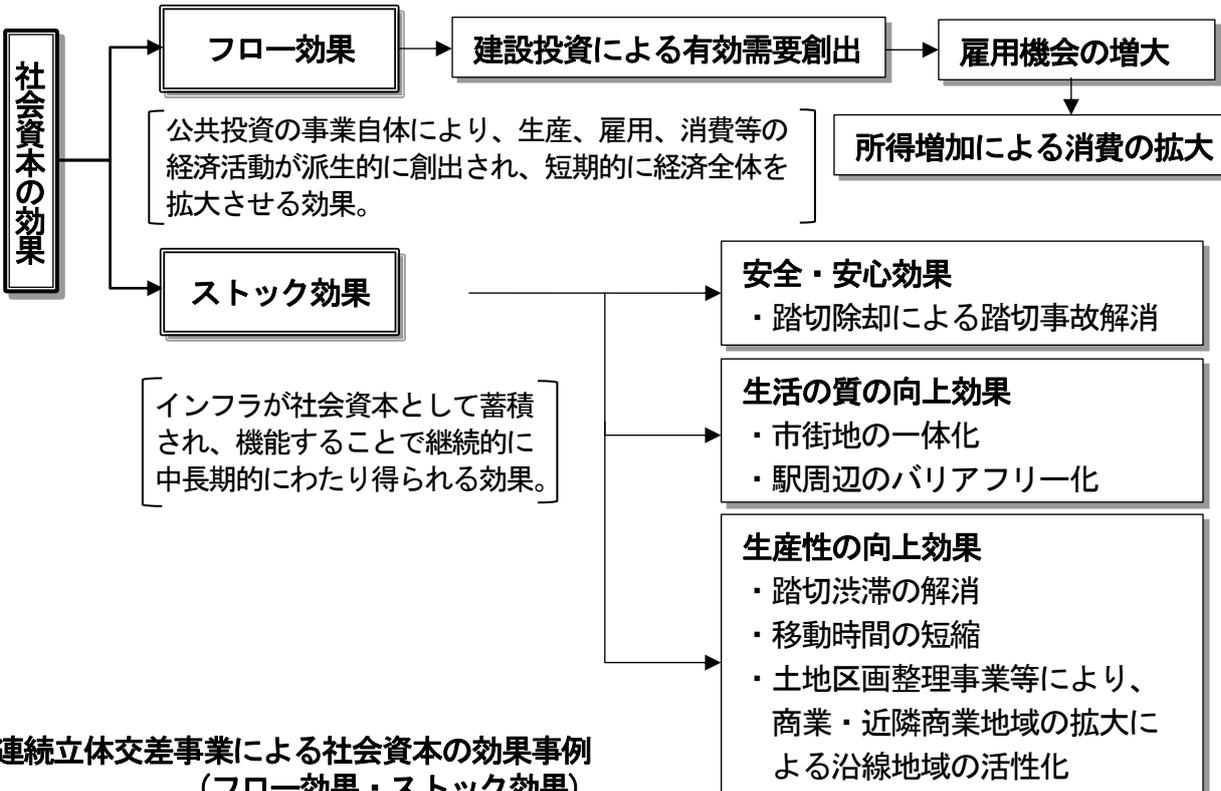
・総合的なまちづくりの促進

踏切交通遮断量

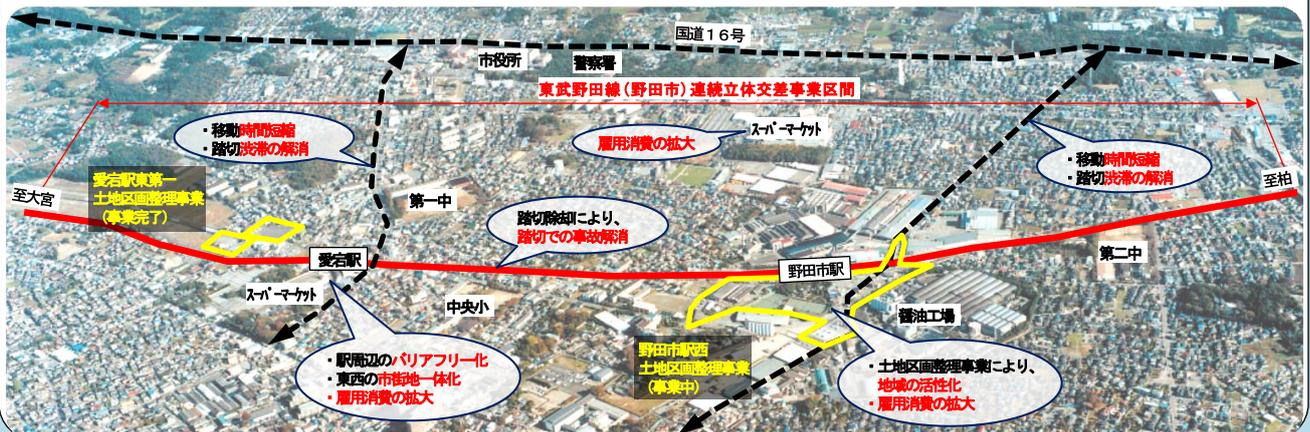
主要地方道	つくば野田線	73,709 (台・時/日)
主要地方道	野田牛久線	51,185 (台・時/日)

(平成30年度交通実態調査(県実施)結果より)

◎連続立体交差事業によるストック効果



連続立体交差事業による社会資本の効果事例 (フロー効果・ストック効果)



計画的、安定的な事業推進の必要性

事業スケジュール

平成 19 年度	都市計画事業認可
平成 22 年度	仮線工事着手
平成 29 年度	全線仮線切替え完了
令和元年度	高架橋及び駅舎工事
令和 2 年度	営業線高架切替え完了 (令和3年3月28日)
令和 3 年度	全線仮線撤去及び駅舎工事
令和 4 年度	高架橋等及び交差道路工事
令和 5 年度	駅舎及び軌道・電気工事

● 営業線高架切替え完了



踏切の除却



● 愛宕駅は仮設通路にて東西から接続可能

愛宕駅（西側）



自由通路（愛宕駅 改札口）

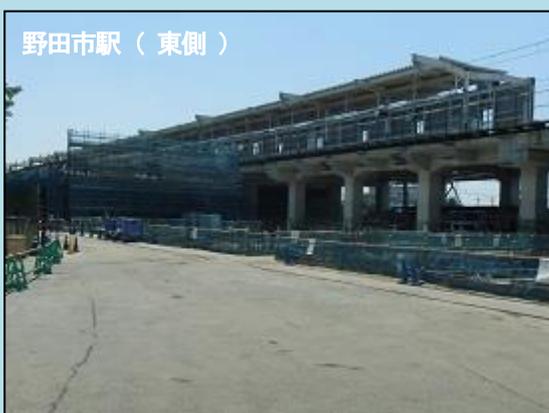


● 野田市駅は仮駅舎で部分的に供用開始

野田市駅（西側）



野田市駅（東側）



※エレベーターやエスカレーター等の設置によるバリアフリー化が図られている

● 計画的な事業推進

執行可能な事業費の確保

総事業費 353 億円

事業年度：平成 19 年度～令和 5 年度

事業進捗率：83%(令和 4 年 3 月時点)



残事業費(令和 5 年度)
令和 5 年度 約 13 億円

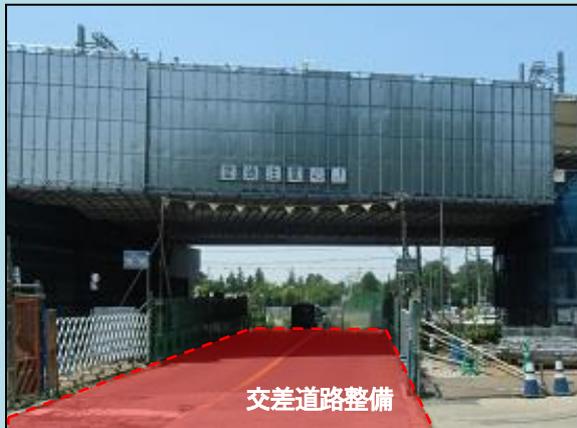
◎ 市内各駅のバリアフリー化の推進

川間駅	平成 23 年 3 月完了
七光台駅	平成 19 年 2 月完了
清水公園駅	平成 19 年 3 月完了
梅郷駅	平成 19 年 5 月完了
愛宕駅	令和 3 年 3 月完了
野田市駅	令和 3 年 3 月一部暫定形で 供用開始



近隣駅バリアフリー状況（東武鉄道HPより）

◎ 踏切除却後に交差道路の整備



◎ 仮線撤去後に水路の復旧整備



◎ 関連事業との整備時期の整合（愛宕駅）



◎ 関連事業との整備時期の整合（野田市駅）



